



257

# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2025年4月6日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部



池上彰の

聞いて  
これ  
いい  
ですか？

## 直木賞を受賞した伊与原新さん 科学と小説の「融合」の魅力 6日(日)=1、3面

短編集「藍を継ぐ海」で直木賞を受賞した作家の伊与原さん＝写真＝は、かつて大学で地磁気を研究していました。

富山大助教だったころ、次第に研究がうまくいけなくなり、30代後半からミステリー小説を書き始めました。作品は自身の専門である科学に、人間ドラマやミステリー要素などを加える工夫が施されていて、読者はどこか不思議な世界に連れて行かれます。人生に

つまずいた登場人物が科学と出会うことで少し前向きになって新たな一歩を踏み出す、という作風が多く、「藍を継ぐ海」を読んだ池上さんは「すてきな読後感でした」「学生たちに読ませたい」と絶賛しました。

小説のアイデアはどこから生まれるのか、今後は何を書いていくのか。いま注目度ナンバーワンといってもいい作家の「頭の中」に池上さんが迫ります。



### 特集 **ワイド**

## 韓国のオーディション番組 日本上陸

10日(木)＝夕刊2面

韓国の大衆歌謡「トロット」は、男女の情愛や家族愛を伝統的なメロディーとともに歌う音楽ジャンルです。その名を冠したオーディション番組が日本に上陸しました。ト

ロットは韓国で再評価され、K-POPと並ぶ人気を誇っています。

しかし、この番組で歌われるのは日本の歌謡曲ばかりなのです。いったいなぜなのでしょう。



オーディション番組「ミスタートロット ジャパン」で歌う出場者ら＝©FANY Studio



### 論点

## 新築マンションの価格高騰

4月9日(水) Ⅱオピニオン面

首都圏を中心にマンション価格の高騰が止まりません。東京都内では湾岸エリアなどのタワーマンション(タワマン)Ⅱ写真Ⅱが人気を集めています。東京オリンピックピックの選手村

を再開したマンション群「晴海フラッグ」(東京都中央区)では転売も問題視されました。活況を呈するマンション市場の背景、今後の展望を聞きました。

### そこが聞きたい

## NASA研究者 ダニエル・グラビンさん

小惑星からみる生命の起源 6日(日)＝くらしナビ面



「米国版はやぶさ」とも呼ばれる米航空宇宙局(NASA)の探査機オシリス・レックス。2023年9月に小惑星ベンヌから石や砂を地球に持ち帰り、生命に欠かせない物質が次々に見つかりました。生命誕生の謎に迫る大きな成果ですが、

その中のある結果は、有機化合物分析チームでリーダーを務めるNASAのダニエル・グラビンさん(50)＝写真＝を大きく失望させたといいます。

その理由やミッションの意義を聞きました。

4月1日付でカスタマーリレーション本部宣伝企画・プロモーショングループ長に配属されました。毎日小学生新聞のデスクを務めた経験があり、満開の桜の花を見ると、新年度を迎えた子どもたちの姿がおののけと浮かんでいきます。毎小は5月25日まで「ご入学・ご進級キャンペーン」を実施中で、「毎小ニュース日記」をプレゼントします。お申し込みはQRコードから。(木村健二)



編集後記

毎日新聞